

グローバルCOEプログラム「コンフリクトの人文国際研究教育拠点」
「コンフリクトの人文」セミナー 第 59 回

ディアスポラと世界市民主義

講師：上野俊哉

(和光大学表現学部教授)

日時 2010 年 12 月 3 日(金) 17:00 ~ 19:00

会場 大阪大学文系研究総合棟(豊中キャンパス) 4階 L6教室 (参加無料)
(交通アクセスは <http://www.hus.osaka-u.ac.jp> を参照ください)

概要

- (1)ディアスポラの定義を裏側から試みること
- (2)ボヤーン兄弟の仕事の特異性、位置づけの難しさ
- (3)啓蒙思想、自然法理論にディアスポラを読みこむ
- (4)世界市民主義(コスモポリタニズム)とディアスポラ
- (5)日本の戦後思想のなかの「離脱」とディアスポラ
- (6)ディアスポラと「存在論的」故郷喪失

講師紹介

1962 年生まれ。和光大学表現学部教授。専門は文化研究、メディア論、社会思想史など。
著書に『アーバン・トライバル・スタディーズ』(月曜社)、『ディアスポラの思考』(筑摩書房)、『人工自然論』(勁草書房)、『シチュアション』(作品社)、『紅のメタルスーツ』(紀伊国屋書店)、訳書にポール・ギルロイ『ブラック・アトランティック』(共訳、月曜社)、ポール・D. ミラー『リズム・サイエンス』(共訳、青土社)などがある。

近年、冬季はカナダ、モントリオールのマギル大学東アジア学科で客員教授を務める。

お問い合わせ先 大阪大学大学院人間科学研究科グローバル COE 事務局
e-mail: royterek@hus.osaka-u.ac.jp(赤尾)

共催 「コンフリクトの人文」研究プロジェクト「シオニズムの考古学」「横断するポピュラーカルチャー」

「DJすることは書くこと、書くことはDJすること。書くことは音楽なんだ。」(ポール・D・ミラー)

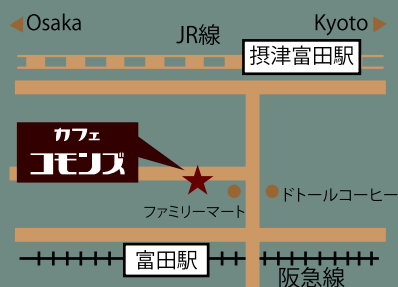
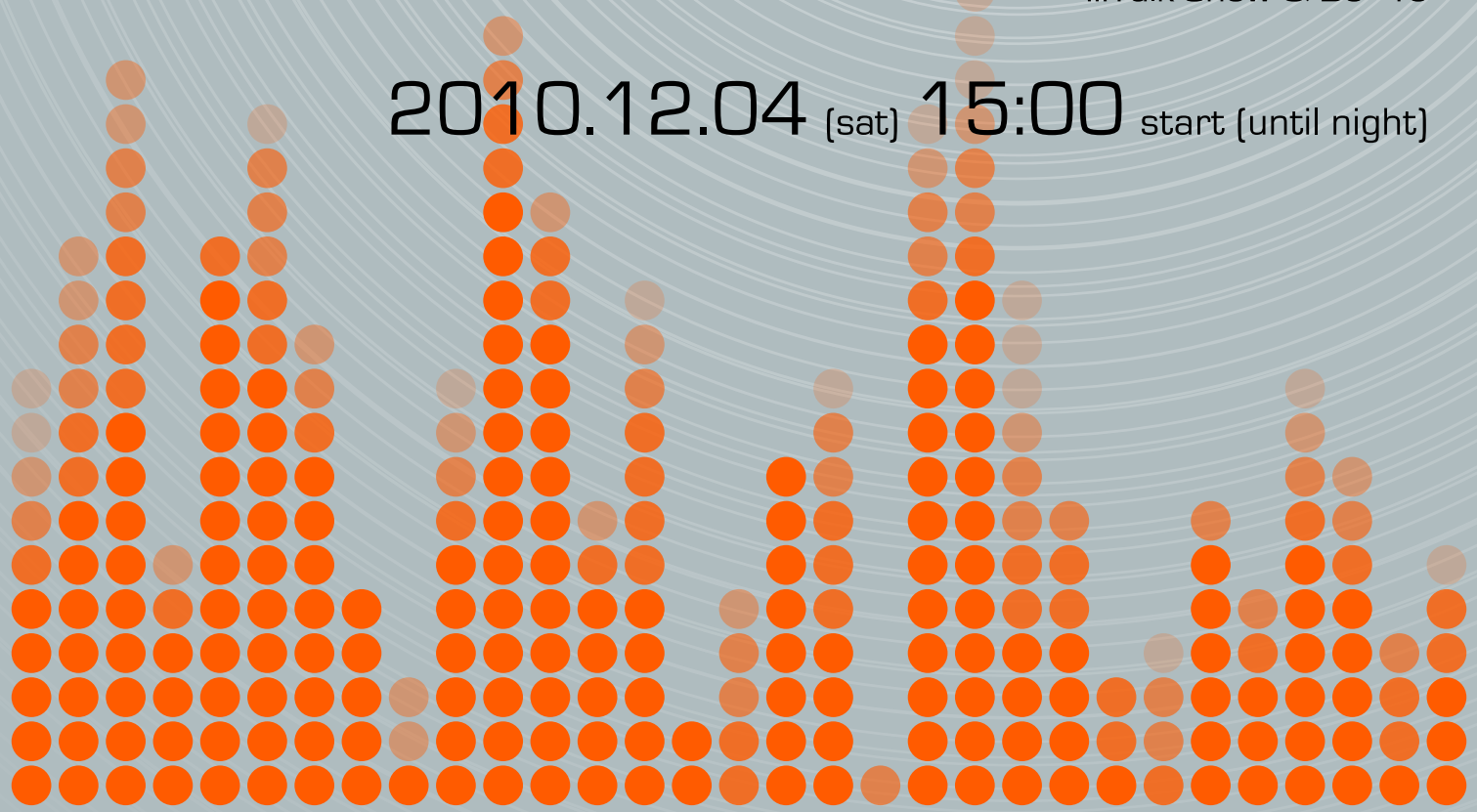
さまざまなリズムやテキストを横断するDJ/TJの実践からクラブ文化が担う新たな人々の集団性について探る

RHYTHM SCIENCE

Toshiya the tribal [a.k.a 上野俊哉]

...Talk Show & DJ+TJ

2010.12.04 [sat] 15:00 start [until night]



参加費: 無料(飲食実費)、事前申込不要

アクセス: JR京都線「摂津富田」駅下車、南出口より徒歩3分
阪急京都線「富田」駅下車、北出口より徒歩2分

企画: 太田健二、栗山新也

主催: 大阪大学GCOEプログラム「コンフリクトの人文学」
/RF横断するポピュラーカルチャー

<http://www.let.osaka-u.ac.jp/crossing-popularculture/>

問合せ先 crossing-popularculture@let.osaka-u.ac.jp

カフェ・commons

高槻市富田町1-13-1 WESTビル5F

<http://cafe-commons.com/>